

自学ノートの書き方について

6年担任 安永 智一

家庭学習で行う自主学習は、勉強のコツをつかむと何倍もの効果が得られます。1ページに収まるように割付けを考えて、進めていくことも大切ですが、より大切なことは、その1ページで何を学ぶことができたかということです。効率のよい勉強をするためにも、自学の行い方を見直してみましょう。

【記入例】 ※原則、使う筆記具は、えんぴつ、赤・青えんぴつ（ペンも可）、定規

単元名	日付
めあて 分数×分数の計算のしかたについてまとめよう。	
<p>「めあて」は学習を進めていく上で、とても重要になってきます。最初に、<u>どんなことを「調べたいのか」や「まとめたいのか」ということを明らかにする必要があります。</u></p> <p>初めは、めあての立て方を2つのパターンでやってみましょう！！</p> <p>【例1】《なぜ～だろうか。の疑問形でめあてを立てる》 課題(問題)に対する自分の<u>考え方を説明</u>したいときの書き方。</p> <ol style="list-style-type: none">① なぜ、円の面積の公式は『半径×半径×円周率』になるのだろうか。② なぜ、卑弥呼は邪馬台国の女王になることができたのだろうか。 <p>【例2】（調べよう、理解しよう、まとめよう等 : ～～しよう。）</p> <ol style="list-style-type: none">① 車が造られる過程について調べよう(理解しよう)。② 分数×分数の計算のしかたについてまとめよう。 <p>おそらく自学の中で一番時間がかかる場所ですね！</p>	
<p>真ん中で区切ると割付けがしやすいのでおすすめです！！</p>	<p>【まとめ】 大切な言葉やキーワードを取り入れて、学習のまとめを行います。ポイントにまとめているとそれを活用できます。</p> <p>【例】 ・分数×分数の計算では、帯分数を仮分数に直して、分母や分子同士をかけるといい。約分は、計算の途中と最後の2回するとよい。</p>
<p>【ポイント】や【大切】という「見出し」をつくることで、その学習の中でも大切なことや注意すべきことをおさえることができます。この「見出し」をつくるだけでも勉強の効率が一気にアップしますよ！</p> <p>【例】</p> <ul style="list-style-type: none">・分母同士、分子同士をかける。・帯分数は仮分数に直して計算する。・計算の途中で約分ができたらする。等	<p>【振り返り】 振り返りでは、この学習で「分かったこと」や「できたこと」「疑問に思ったこと」「分からなかったこと」を書く。</p> <p>【例】 帯分数は仮分数に直して計算しないといけないことが分かりました。よく約分を忘れるので気を付けたいです。</p>